

心のかげら

時は流れて 海に沈んだ
心のかげら探し 年齢(とし)を重ねた

何度も何度も 繰り返しひからびた
言葉を胸に抱き 今夜どこで眠るか

m m m 風が吹いてる…

心がヒリヒリ 痛み始めた
あの娘にほんとの 僕がわかるのだろうか

喉がカラカラに渴いているんだ
あの娘の言葉を もう飲み込む事ができな

m m m 風が吹いてる…

* 塀にもたれ いつまでも笑い続けた
うつむき加減にポケットをさぐれば
確かに心のかげらは ここに…ある

暗闇の中 僕はサングラスかけ
描きかけの絵をじっとながめている

足りないところを まだ描いていないところを
あの娘の色で どうか塗りつぶしておくれ

m m m 風が吹いてる…

* Ref

悲しいことは 妖しく彩られ
夜明けを待って ゴミ箱に捨てられる

途切れ途切れに 雨が降り続く
いつまで僕は ここに居るのだろうか